

ドライブレコーダー 取扱説明書



商品に関するお問い合わせは、お求めいただいたメルセデス・ベンツ正規販売店までお願い致します。

〒106-8506
東京都港区六本木一丁目9番9号
六本木ファーストビル
メルセデス・ベンツ日本株式会社

部品番号	M 451 829 00 10 MM
------	--------------------

ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に、“安全上のご注意”(P.4～5) “使用上のご注意”(P.7
～9)はご使用前に必ずご一読ください。

また、取付は必ずメルセデス・ベンツ正規販売店で行ってくだ
さい。

本製品の仕様(外観・付属品・ビューワ画面等)は、改良の
ため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
ご使用前に	6
使用上のご注意	7
ご使用に際してのお願い	10
製品の特徴	11
各部名称	12
micro SDHCカードの抜き挿し方法	13
電池の交換方法	13
録画方式	14
音声録音	15
micro SDHCカードのフォーマット	15
LED動作	16
micro SDHCカードのファイル構成とタイムギャップ	18
micro SDHCカード内の構成	19
映像の再生	19
本体ソフトのアップグレード方法	20
その他サポート情報	21
製品仕様	21
専用ビューワで動画の再生	22
用語説明	31

安全上のご注意

- 安全に正しくご使用いただくため、本取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

マーク表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いくつかのマーク表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

このマークの記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

⚠ 注意




このマークの記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

⊘ このマークは、してはいけない「禁止」内容です。



❗ このマークは、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

結線の注意

⚠ 警告




- **コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…** 
ステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
- **接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…** 
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- **エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…** 
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

- **正規の接続をする…** 
誤った接続をすると、火災や事故・故障の原因となることがあります。また、シガーケーブルの改造をしないでください。
- **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…** 
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。




安全上のご注意

⚠ 警告

- **エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…** 
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。
- **本製品を次のような場所に取り付けない…** 
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所に取り付けると運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。
- **取り付けは付属の位置決めシートを使って、正しい位置に取り付けてください。** 

使用時のご注意

⚠ 警告

- **故障のまま使用しない…** 
故障した状態ではご使用にならず、必ずお買い上げの販売店もしくは弊社サービスにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- **異常のまま使用しない…** 
万一煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちにご使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- **ヒューズは規定容量のヒューズを使用する…** 
ヒューズを交換するときは必ず表示された規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズをご使用されると火災の原因となります。

⚠ 注意

- 他の無線機やテレビ・テレビチューナー・ラジオ・パソコン・GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。
- 本製品のケースを取り外さないでください。ケースを外すと内部の部品が破損することがあり、保証の対象外となります。
- 本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご利用ください。本製品は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本製品は日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 炎天下の駐車中は日射により本体が高温になります。注意してください。

ご使用の前に

電源が入ったままの状態でもicro SDHCカードの抜き挿しを行うと、録画されたファイル又は、micro SDHCカードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので、下記手順をお守りください。

micro SDHCカードの抜き挿し手順

<micro SDHCカードの抜き方>

1. エンジンを停止させます。
2. ドライブレコーダーのLEDの消灯を確認します。
(エンジン停止後、約10秒)
3. ドライブレコーダーからmicro SDHCカードを取り外します。

<micro SDHCカードの挿し方>

1. エンジンを停止させます。
2. ドライブレコーダーのLEDの消灯を確認します。
(エンジン停止後、約10秒)
3. ドライブレコーダーにmicro SDHCカードを挿入します。



micro SDHCカード使用上の注意事項

- ※ 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- ※ 安定してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicro SDHCカードのフォーマットをしていただくことをおすすめします。P.15をご参照ください。
- ※ micro SDHCカードは分解、改造その他加工はしないください。
- ※ 本体よりmicro SDHCカードを取り外す場合は、製品の電源を切りLEDが消灯してから取り外してください。
- ※ 大切なデータは、PCや他の保存装置にバックアップしてください。
- ※ micro SDHCカードは消耗性部品です。定期的に記録映像を確認し、6ヶ月を目安に交換されることをお勧めします。
- ※ 下記のmicro SDHCカードが使用できます。
 - ・ micro SDHCカード 4GB～32GB CLASS10 UHS-I対応
 - ・ 推奨micro SDHCカード
 - ソニー製 micro SDHCカード
 - サンディスク製 micro SDHCカード
 - エレコム製 micro SDHCカード

使用上のご注意

保証範囲

- ・ 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ・ ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ（無録画時間）が存在します。
- ・ 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考映像としてご利用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- ・ 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責を負いません。
- ・ 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、micro SDHCカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責を負いません。
- ・ 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

使用上のご注意

製品を誤って扱った場合、重傷や死亡に至る危険な状況に繋がることがありますので、お取り扱いには充分ご注意ください。

ドライブレコーダーを分解、改造しないでください

- ・感電や火災など車両破損及びデータ損失の原因となります。
- ・製品の点検、修理はお買い上げのメルセデス・ベンツ正規販売店へお申し付けください。

運転中にドライブレコーダーの操作を行わないでください

- ・操作が必要な場合は、安全なところに駐車してから行ってください。

ドライブレコーダーを高温及び低温に長時間放置しないでください

- ・一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
- ・車室内、本体が常温になってから起動してください。
- ・結露のない状態でご使用してください。

ドライブレコーダーのレンズは常に清潔な状態でお使いください

- ・レンズが汚れますと画質が低下します。
- ・お手入れは、レンズクロスなどで拭いてください。

ドライブレコーダーを長時間使用する場合、通風を良くしてください

- ・本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。

本製品のご使用により受信状態の悪い(微弱電波)のラジオ放送では、雑音が入る場合があります。

バイザーを使用する際本体に接触し、カメラの向きが変わる可能性がありますので、ゆっくり下げてください。

使用上のご注意

本体の清掃、お手入れの際には、水、ワックスその他洗剤を本体にかけないでください。

- ・故障や感電を引き起こす可能性があります。

ケーブルは動かないよう固定し、コネクタにしっかり挿入してください。ケーブルが傷んだ場合は使用を止め、修理を依頼してください。

本製品を1週間以上使用しなかった場合、車両のキーをACCの位置で1分間程度保持後、エンジンをスタートさせてください。

次の場合は故障ではありません。

- ・LEDの信号機やテール／ストップ／ウインカーランプは録画した映像で点滅したり光っていないように映ることがあります。
- ・録画した映像はスマートフォンやタブレット端末に搭載されている動画再生アプリによっては再生できない場合があります。
- ・作動中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- ・Gセンサーは衝撃の方向によって検知が異なるためEVNTファイルが作成されない場合があります。
- ・本製品では、内蔵時計の時刻時刻合わせにGPSを利用しています。電源を入れた時、GPSデータの受信に数分かかることがあります。

ご使用に際してのお願い

micro SDHCカードの維持、管理

録画動作中は本製品後面の『ステータスLED』が青色に点灯しておりますが、定期的に録画データをファイルに書き込むタイミングで一瞬、LEDが消灯する場合があります。

また、同じmicro SDHCカードをそのまま長時間使用していると、ファイルの書き換えの繰り返しにより、LEDの消灯時間が次第に長くなります。

青色LEDが消灯している間の映像は録画されませんので、消灯している時間が長いと感じられましたら、micro SDHCカードのフォーマットを行ってください。

※ フォーマットの手順については、P.15をご参照ください。

フォーマットする際、大切なデータは予めPCや他の保存装置等にバックアップをしてから行ってください。

製品の特徴

コンパクトサイズ

超小型サイズで、運転の視野を妨げません。

高解像度カメラ

340万画素イメージセンサーを搭載し、フルハイビジョン録画を行います。

Gセンサー搭載

内蔵Gセンサーが衝撃を検知した時、録画映像を別ファイルに保存します。

録画モード

常時録画

自動的に起動し、映像をRECDファイルに保存。

手動録画

任意で映像をMANUファイルに保存。

※ 常時録画及び、手動録画中にGセンサーが衝撃を検知した時、衝撃検知録画を行います。

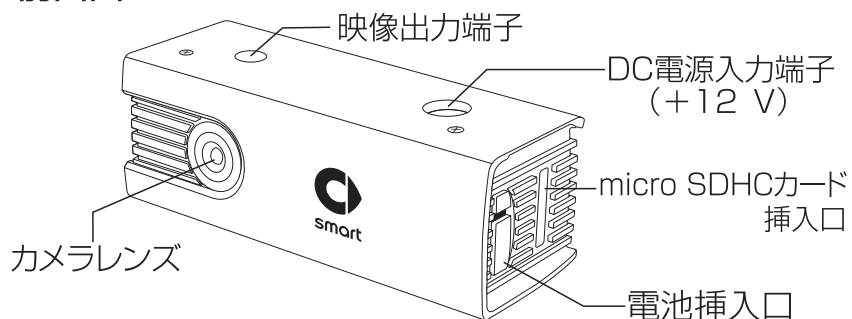
映像をEVNTファイルに保存。

音声案内機能

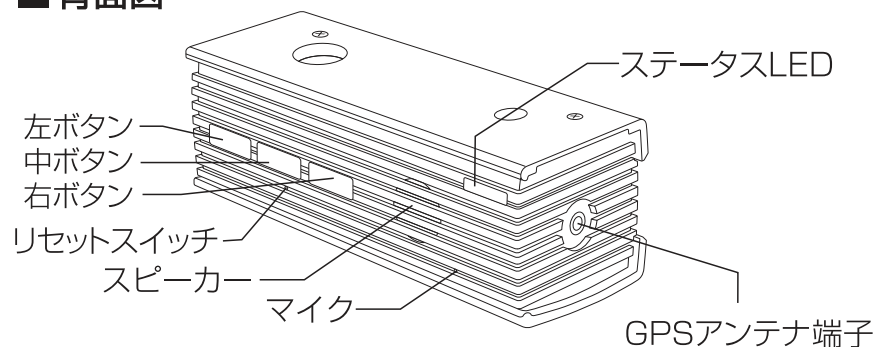
動作状態を音声で知らせます。

各部名称

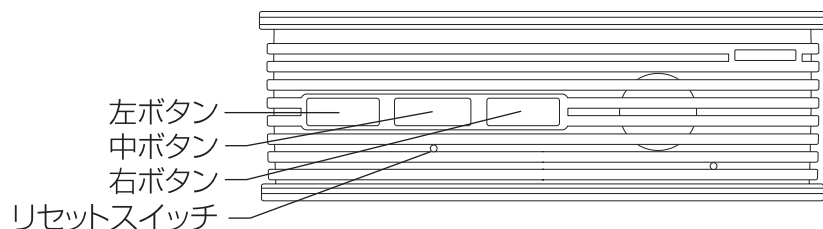
■ 前面図



■ 背面図



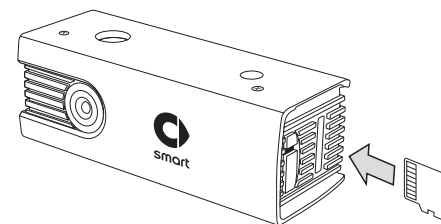
■ ボタンの説明



- 左ボタン：短押し時、手動録画を開始します。
長押し時(約7秒)、micro SDHCカードのフォーマットを行います。
- 中ボタン：音声録音の切替を行います。
- 右ボタン：使用しません。
- リセットスイッチ：本製品をリセットし、再起動します。
※ リセットスイッチはボタンが動作しない、LEDが点灯しないなど、異常動作時以外は操作しないでください。

micro SDHCカードの抜き挿し方法

- ※ micro SDHCカードの抜き挿しを行う場合は、必ず本製品の電源がオフになっていることを確認してから作業を行ってください。
- 本体横の挿入口よりmicro SDHCカードを図の方向にカチッと音がするまで挿入します。
※ micro SDHCカードは挿入方向を誤ると故障や破損の原因になります。非常に壊れやすいのでご注意ください。
 - 取り外し時はカードを軽く押してから丁寧に取り外してください。
※ 無理な力で行うと破損の原因になります。
 - micro SDHCカードの抜き挿し時は落下、紛失にご注意ください。また、持ち歩く場合は付属のケースに入れて持ち運びください。



電池の交換方法

本製品は内蔵時計の維持にボタン電池を使用しています。電池が消耗した場合は下記手順で交換してください。

-
- 爪
電池蓋の爪を内側にずらす。
- 蓋の爪をずらしたまま、トレーを矢印方向に引く。
- トレーを引き出す。
- トレーに対し、プラス極が上
- 電池を取り付けるときは、逆の手順で取り付けます。
- ※ 電池は「BR1225」をご使用ください。向き、取扱い等、正しく取り付けてください。

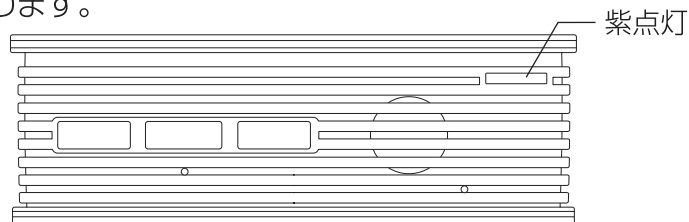
録画方式

1. 常時録画

常時録画とは、本製品の電源を入れた時に自動的に開始される録画方式です。キーをACCの位置に入れた時、本製品の電源が入り、“常時録画を開始します”という音声案内が流れ、常時録画が開始します。

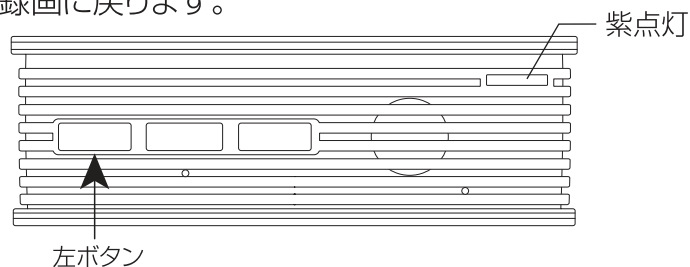
2. 衝撃検知録画

衝撃検知録画とは、Gセンサーが衝撃を検知した時、現在録画中のファイルと前後1ファイルずつが衝撃検知録画として保存されます。衝撃検知録画中はステータスLEDが紫色に点灯します。音声案内はありません。衝撃検知録画が終了すると、常時録画に戻ります。



3. 手動録画

手動録画とは、本体背面の左ボタンを短押しした時、“手動録画を開始します”という音声案内が流れ、現在録画中のファイルと前後1ファイルずつが手動録画として保存されます。手動録画中はステータスLEDが紫色に点灯します。手動録画が完了すると常時録画に戻ります。



※ 手動録画中にGセンサーが衝撃を検知した場合、衝撃検知録画に切り替わります。

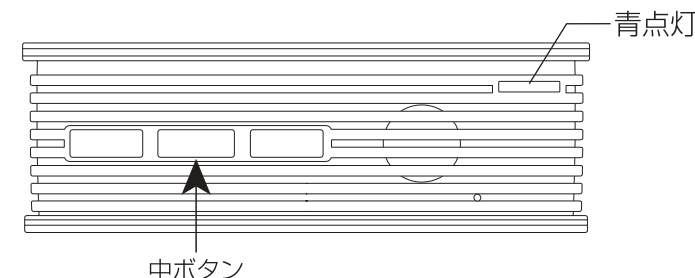
※ 衝撃検知録画中は、キー操作を行うことができません。そのため、手動録画を行うことができません。

音声録音

中ボタンを短押し操作すると、音声録音のオン、またはオフを設定します。

音声録音のオン: ステータスLED青点灯
「音声録音を開始します」

音声録音のオフ: ステータスLED青点灯
「音声録音を終了します」



micro SDHCカードのフォーマット

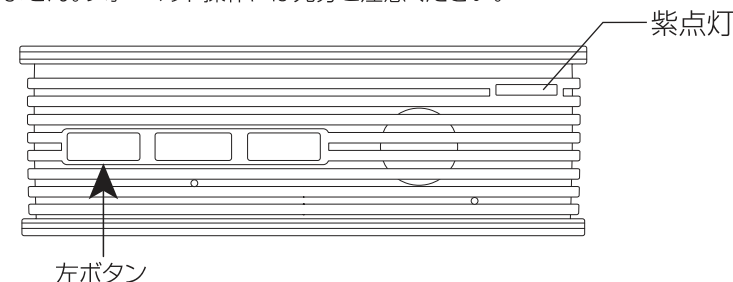
micro SDHCカードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認して下さい。安心してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicro SDHCカードのフォーマットを行うことをお勧めします。

※ フォーマット時には全てのデータが削除されます。大切なファイルは必ずPCなどに保存してください。

■フォーマット手順

本体の電源がONの状態、左ボタンを約7秒間押し続けると“ファイルを全て削除します”という音声案内が流れ、フォーマットを開始します。

※ “ファイルを全て削除します”という音声案内が流れるとフォーマットを中止することができません。フォーマット操作には充分ご注意ください。



LED動作

録画動作

○点灯 ○点滅

状態 (操作)	ステータス LED	説明
常時録画時	○ (青)	“常時録画を開始します” ファイル名の先頭に「RECD」が追記され映像が保存されます。
手動録画時	○ (紫)	“手動録画を開始します” 常時録画中、P.14の手動録画操作方法を行うと、ファイル名の先頭に「MANU」が追記され、手動録画の映像が保存されます。保存されるファイルは手動録画を開始した際のファイルとその前後1ファイルずつ(合計3ファイル)を保存し、自動的にLEDが青色に点灯し、常時録画モードに戻ります。
衝撃検知録画時	○ (紫)	常時録画及び手動録画中にGセンサーで衝撃が検知されるとファイル名の先頭に「EVNT」が追記され、衝撃検知録画映像が保存されます。 保存されたファイルは衝撃を検知した際の録画ファイルとその前後1ファイルずつ(合計3ファイル)を保存し、自動的にLEDが青色に点灯し、常時録画モードに戻ります。

※ 録画ファイル構成についてはP.19をご参照ください。

基本動作

○点灯 ○点滅

状態	ステータス LED	説明
電源接続時	○ (青)	“常時録画を開始します” 起動後に録画を開始します。
micro SDHCカードなし	○ (赤)	“micro SDカードがありません。micro SDカードを挿入してください” micro SDHCカードのエラー、または未挿入です。
micro SDHCカード異常取り外し時	○ (赤)	“micro SDカードが取り外されました” 録画中にmicro SDHCカードが取り外され、エラー状態です。
エラー発生時	○ (赤)	micro SDHCカードまたは本体エラーによる動作異常です。一旦電源を切り、本製品でmicro SDHCカードをフォーマット後、録画が正常に行われるか確認して下さい。正常動作しない場合は、弊社サービスまでご連絡ください。

LED動作

その他の動作

○点灯 ○点滅

状態変更 (操作)	ステータスLED	説明	
その他の状態	音声録音中止	○* (青)	“音声録音を終了します” P.14をご参照ください。
	音声録音開始	○* (青)	“音声録音を開始します” P.14をご参照ください。
	フォーマット	○ (紫)	“ファイルを全て削除しました” P.15をご参照ください。

※ 手動録画時、衝撃検知録画時は紫色に点灯します。

アップグレード

○点灯 ○点滅

状態	ステータス LED	説明	
アップグレード時 (UG)	SDHCカード内にファイルあり	○ (青) ↓ ○ (紫) ↓ 消灯	“アップグレードを開始します。終了するまで電源を切らないでください” P.20をご参照ください。
	UG終了	消灯	“アップグレードが終了しました。電源を入れなおしてください” P.20をご参照ください。

本製品はお車のエンジンをかけて電源がONの状態になると約10秒後に自動的に常時録画を開始します。

- ※ 本製品はGPSデータを受信し、日付と時刻を自動で合わせます。GPSアンテナが未接続の場合、日付と時刻が自動で設定されません。GPSアンテナを常に接続した状態でお使いください。
- ※ 手動録画、音声録音の中止設定およびmicro SDHCカードフォーマットの際は、P.14~P.15の操作手順をご参照ください。
- ※ 音声案内のボリューム調整はできません。
- ※ 「常時録画を開始します」のアナウンスを確認ください。アナウンスされない場合はエンジンを再始動してください。

micro SDHCカードのファイル構成とタイムギャップ

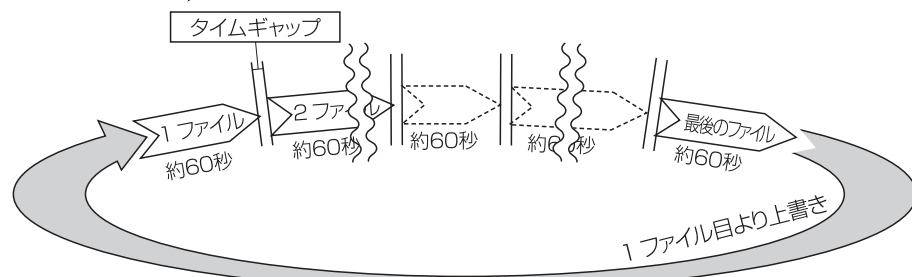
■ ファイル構成

● micro SDHCカードには、約60秒毎に録画ファイルが作成されます。

micro SDHCカードのメモリー容量がいっぱいになった場合には、古いファイルから順次上書きされます。

録画記録イメージ

スタート →



※ 録画時間が60秒に満たない状態で電源を切った場合には、その秒数でファイルが作成されます。

※ 常時録画中に手動録画、及び衝撃検知があった場合にはファイル名が変更されます。

※ 手動録画、及び衝撃検知録画は、手動・衝撃検知ともに録画しているファイルとその前後の1ファイルずつ、合計3ファイルが保存されます。

- ・手動録画最大3件(9ファイル)
- ・衝撃検知録画最大5件(15ファイル)

※ 保存容量の最大件数以上に手動録画、及び衝撃検知録画を行った場合、古い保存ファイルから上書きされます。

※ 大切な手動録画及び、衝撃検知録画映像は上書きされる前にPCや他の保存装置等にバックアップを行ってください。

■ タイムギャップ

● タイムギャップ(ファイル間の無録画時間)が発生することがあります。

ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。タイムギャップ時のタイミングで衝撃が発生した場合、録画はできません。

■ micro SDHCカード容量別録画時間の目安

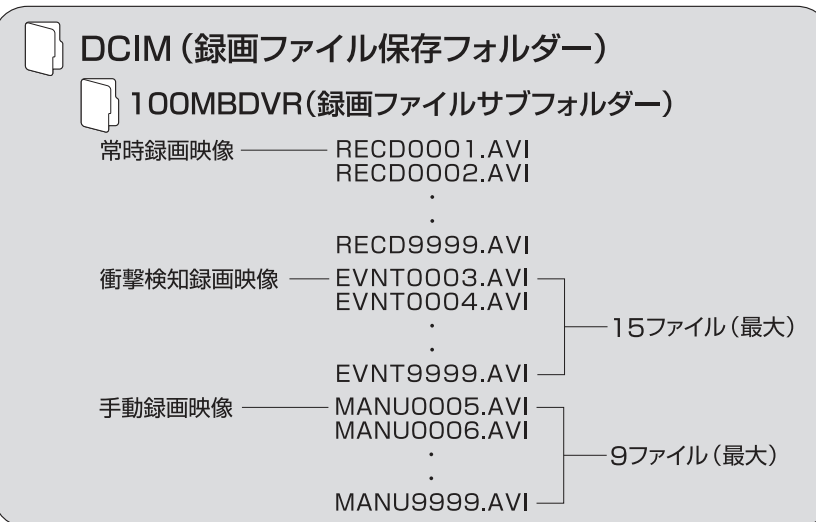
容量	8GB	16GB	32GB
録画時間	約1時間15分	約2時間15分	約4時間20分

・標準的な録画時間の目安です。

・録画時間は映像の状態、録画環境によって変動します。

micro SDHCカード内の構成

■ 録画ファイル構成



映像の再生

■ 一般の動画再生ソフトで再生

1. エンジンを停止後、ドライブレコーダーのステータスLEDが消灯したのを確認し(約10秒)、micro SDHCカードを取り外します。
2. SDカードアダプターにmicro SDHCカードを挿入し、リーダー・ライター*をPCに接続します。
3. H.264に対応した動画再生アプリケーションを起動します。
4. ファイルメニュー、ドラッグ&ドロップなどでファイルを開きます。

※ 使用方法については、リーダー・ライターの取扱説明書をご参照ください。

■ 専用ビューワで再生

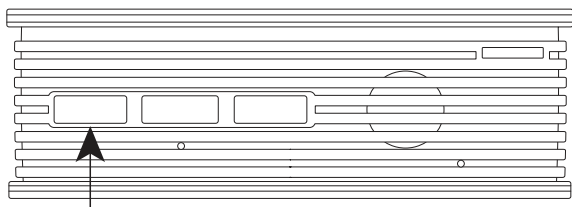
専用ビューワの操作方法は、P.22 "専用ビューワで動画を再生"をご参照ください。

本体ソフトのアップグレード方法

本体ソフトの更新時には、弊社ホームページ上でおしらせ致します。

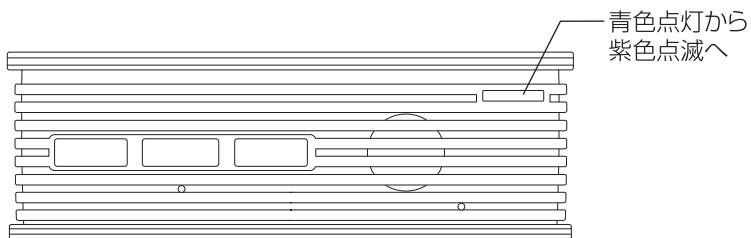
■ アップグレードする

1. PCから弊社ホームページ(<http://www.keiyoeng.co.jp/MBJ/>)へアクセスします。
2. 最新アップグレードファイルを確認し、「プログラムアップグレード」をクリックしてPCへダウンロードします。
3. ダウンロードしたアップグレードファイルをmicro SDHCカードの最上階層にコピーします。
4. micro SDHCカードを本体に挿入し、左ボタンを押しながら電源を入れます。



左ボタン

5. LEDが青色に点灯後、「アップグレードを開始します。終了するまで電源を切らないでください」の音声案内が流れてアップグレードが始まります。アップグレード中はLEDが紫色で点滅します。



6. 「アップグレードが終了しました」の音声案内が流れると、LEDが消灯し本製品が一旦自動終了しますので、一度電源(エンジン)を切って、再起動してください。

その他サポート情報

■ 内蔵時計について

本製品は内蔵時計の時刻合わせにGPSを使用しています。時刻合わせを行うため、同梱のGPSアンテナを接続してお使いください。

■ 内蔵電池について

本製品は内蔵時計の維持に電池(ボタン電池)を使用していますが、電池の性能が3~5年で著しく低下しますので、電池交換を行ってください。交換手順については、P.13を参照ください。

■ リセットスイッチについて

ボタンが機能しない、LEDが点灯しないなど、正常に動作しない場合は、リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。それでも正常動作しない場合は、お近くのメルセデス・ベンツ正規販売店にお問い合わせください。

■ サービスパーツについて

サービスパーツについてのご質問、ご確認はお近くのメルセデス・ベンツ正規販売店にお問い合わせください。

製品仕様

カメラ	センサー	CMOS 340万画素
	画角	100°(水平) 68°(垂直)
解像度	FHD 1920 × 1080 (29.5 fps)	
録画ファイル	常時録画/手動録画/衝撃検知録画	
メモリーカード	micro SDHCカード* (4~32GB CLASS10 UHS-I対応)	
	micro SDHCカード16GB同梱	
電源	DC 12V(約130 mA)	
サイズ	87.2mm(W) × 31.3mm(H) × 33.2mm(D)	
重量	70 g	

* すべてのmicro SDHCカードの動作を保証するものではありません。また、micro SDカードはご使用になれません。

専用ビューフで動画の再生

- 専用ビューフではmicro SDHCカードに録画された映像の確認と走行した位置が確認できます。
- 録画された映像は一般の動画再生ビューフでも再生できますが、走行した位置の情報は表示されません。
- 走行した位置を確認する場合は専用ビューフが必要です。
- 本製品同梱のCDに専用ビューフが保存されています。
- 走行した位置を表示する時に、インターネットの地図を表示します。インターネットに接続した環境にて再生してください。接続していない時は地図が表示されません。

1. 専用ビューフをセットアップする。

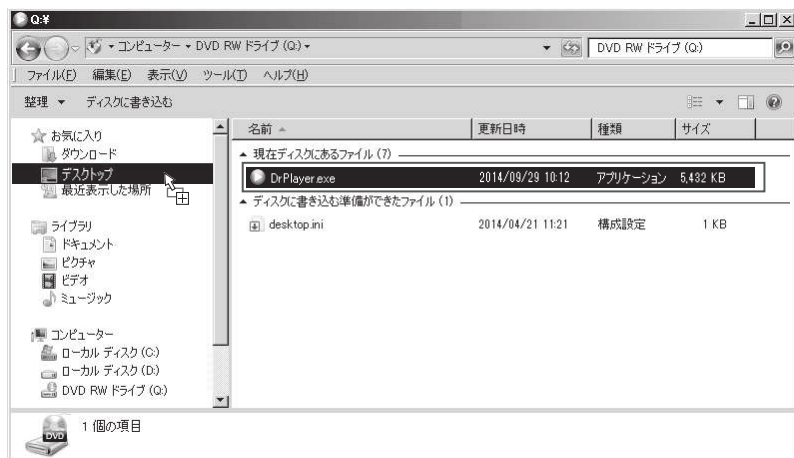
PCのCDドライブに同梱されているCDを挿入します。



動作必要条件	
OS	WindowsVista/7/8 (32/64bit)
CPU	Intel Core2Duo E6320以上
メモリ	1GB以上
ディスプレイ	1024 × 768以上
サウンド	Windowsで動作可能な再生機能
その他	インターネット接続環境 micro SDHCカードを接続できる メモリーカードリーダー・ライター

※お使いのPC環境によっては、一部の機能に制限があります。

コンピュータからCDドライブを開き、“DrPlayer”をデスクトップへコピーします。



専用ビューフで動画の再生

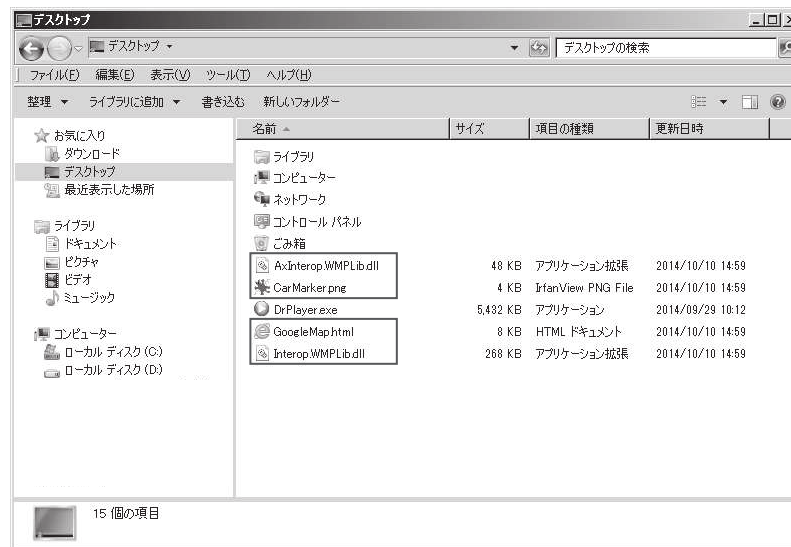
コピーした“DrPlayer.exe”をダブルクリックすると、専用ビューフが起動します。



※ ビューフ起動後、同じフォルダに下記4つのファイルが作成されますが、ビューフ動作の際に必要になりますので、削除しないでください。

AxInterop.WMPLib.dll (※)
CarMarker.png
GoogleMap.html
Interop.WMPLib.dll (※)

※印のファイルは、お使いの環境により表示されません。



専用ビューワで動画の再生

2. 専用ビューワの各部機能、及び名称



※ プレイヤーを起動した直後は、プレイリスト、再生画面、走行位置、走行座標は表示されません。

A)メニューアイコン

- ①プレイリスト画面：再生したいファイルを選択します。
- ②再生画面：本製品で録画した映像を再生します。
- ③走行位置画面：インターネットの地図上に、走行位置を表示します。
- ④再生位置バー：再生位置を表示します。
- ⑤音量調節バー：音量を調節します。
- ⑥衝撃検知記録表示：Gセンサーから記録した値を表示します。
- ⑦走行位置の座標表示：GPSが取得した座標を表示します。
- ⑧プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。
- ⑨プレイリストで選択されているファイルを再生します。再生中に押すと停止します。
- ⑩プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。
- ⑪プレイリスト上において、リストの前のグループの先頭ファイルを再生します。
- ⑫プレイリスト上において、リストの次のグループの先頭ファイルを再生します。

※ 走行位置、走行位置の座標表示画面は、インターネット接続環境が必要です。インターネット未接続時は表示されません。

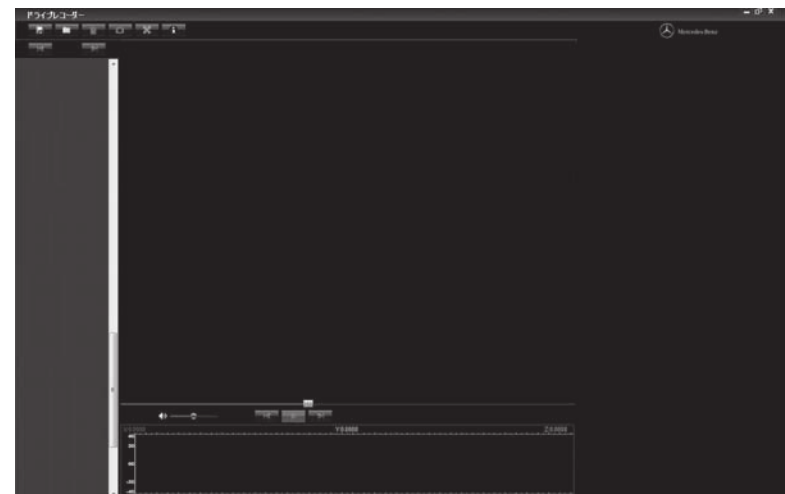
※ 道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際に走行した位置と地図上の自転車位置マークがずれ、正しく表示されないことがあります。

※ GPSデータが保存できなかった映像ファイルを再生した場合、正しい走行位置、走行位置の座標画面は表示されません。

専用ビューワで動画の再生

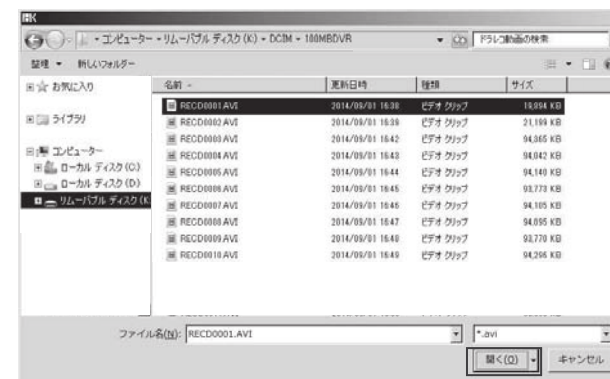
3. 専用ビューワの起動

ビューワを起動すると下記画面が表示されます。



4. ファイルを開く

micro SDHCカードを挿入したリーダー・ライターをPCに接続後、ファイルを選択アイコンをクリックし、micro SDHCカード内にある映像ファイルが保存されているフォルダを開き、ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックしてください。



専用ビューワで動画の再生

5. 動画の再生

ファイルを選択後、プレイリストにファイル名が登録されるので、再生したいファイルをクリックすると、再生が始まります。

ファイル名をクリックすると、再生が始まります。



6. フォルダを開く

ビューワのディレクトリーを開くアイコンをクリックすると、フォルダを選択する画面が表示されます。動画ファイルが保存されているフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



専用ビューワで動画の再生

7. 動画の再生

開いたフォルダに保存されている動画ファイルがプレイリストに登録されますので、再生したいファイルをクリックすると、再生が始まります。

ファイル名をクリックすると、再生が始まります。



8. プレイリストから動画の削除

プレイリストで削除したいファイル名を選択し、削除アイコンをクリックします。



※ プレイリストから削除されますが、動画ファイルは削除されません。

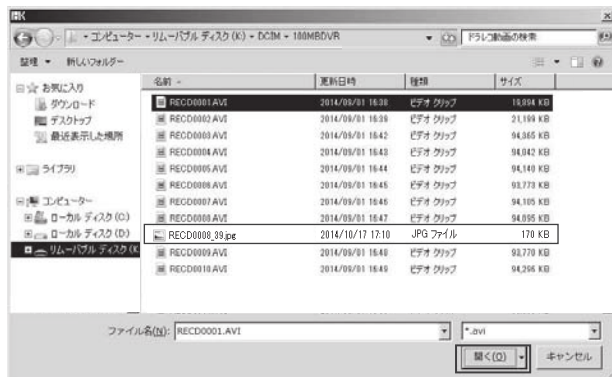
専用ビューワで動画の再生

9. 画面のキャプチャー

画面のキャプチャーアイコンをクリックすると、再生画面に表示されている画面をJPEGファイルで保存します。



キャプチャーしたJPEGファイルは下記画面表示後に動画ファイルと同じフォルダに保存されます。「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じてください。



専用ビューワで動画の再生

10. 全画面表示

全画面表示アイコンをクリックすると、ビューワがウィンドウ表示から、全画面表示に切り替わります。



※ マウスのダブルクリック、またはキーボードの”ESC”キーで通常の画面に戻ります。

専用ビューワで動画の再生

11. バージョン情報

DrPlayerについて...アイコンをクリックすると、ビューワのバージョン情報を表示します。



用語説明

EVNTファイル

急ブレーキなど、本製品が衝撃を感知した時に録画中のファイルとその前後のファイル。

Gセンサー

自動車の各方向の動きに対し、加速度や減速度の大きさを測定するセンサー。

H.264

動画圧縮方式の一つ。

MANUファイル

任意のタイミングで本製品の左ボタンを押した時に録画中のファイルとその前後のファイル。

RECDファイル

本製品の電源を入れた時に作成されるファイル。

手動録画

任意のタイミングで本製品の左ボタンを押した時に録画開始される録画方式。

衝撃検知録画

急ブレーキなど、本製品が衝撃を検知した時に録画開始される録画方式。

常時録画

本製品の電源を入れた時に自動的に開始される録画方式。

タイムギャップ

ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでに発生する時間的なギャップのこと。